

# 横浜市インフルエンザ流行情報 9号

横浜市健康福祉局健康安全課 / 横浜市衛生研究所

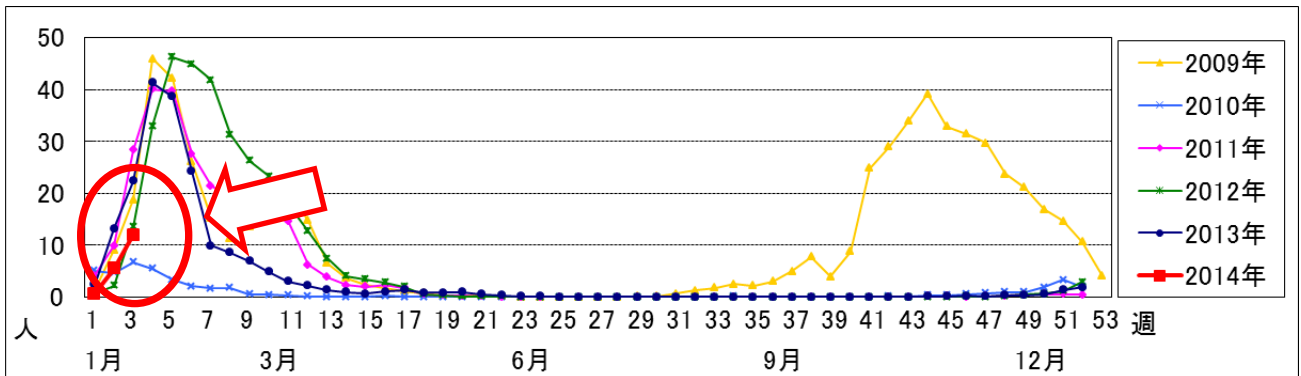
## 《トピックス》

- 注意報発令基準値（定点※<sup>1</sup>あたり 10.00）を上回り、学級閉鎖や入院患者の報告も増加しています。
- 衛生研究所で検査した A(H1N1)pdm09 の 13 株全例で耐性遺伝子を持つ株は見つかりませんでした。
- 今後、インフルエンザの流行拡大が予想されるため、予防や早期受診などの対策※<sup>2</sup>が重要です。

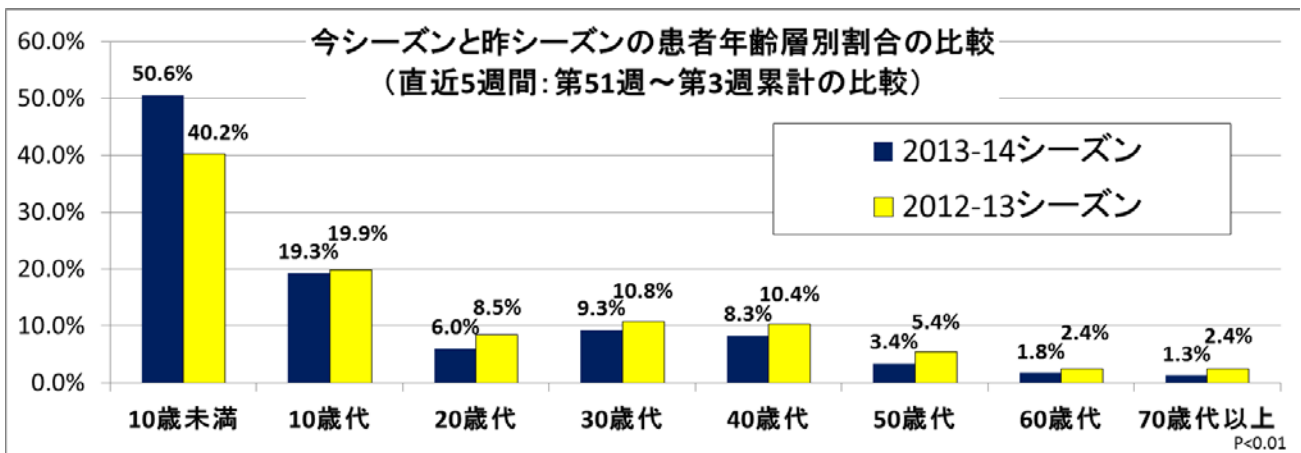
※1 定点・・定点とは、定期的にインフルエンザ患者発生状況を報告していただいている医療機関(市内152か所)のことで、そこから報告された患者数の平均値が定点あたりの患者報告数です。

※2 [インフルエンザ予防チラシ\(横浜市\)](#)

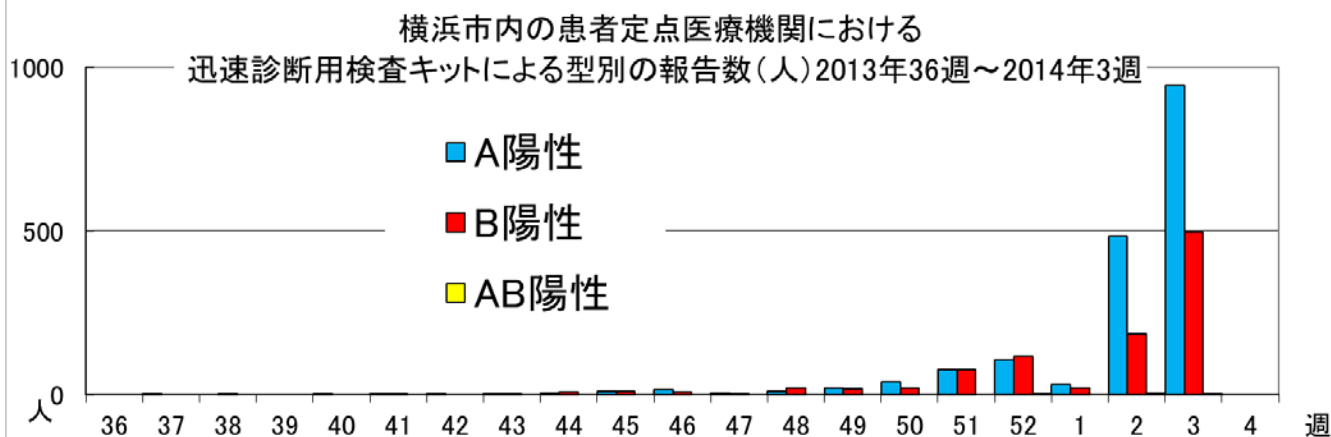
1 市内流行状況:市全体の定点あたりの患者報告数は、第3週(1月13日~19日)11.96と、前週の5.45からほぼ倍増し、注意報発令基準値を上回りました。区別でも 11区で上回り、緑区 22.00では特に多くなっています。



2 年齢層別集計:直近5週間(第51~第3週)の患者年齢層別割合(累計)では、昨シーズンに比べて10歳未満の割合が多く、10歳代以上、特に20歳代~50歳代で少なくなっていました。ただ、全体的には10歳代~10歳未満が多くを占めています。



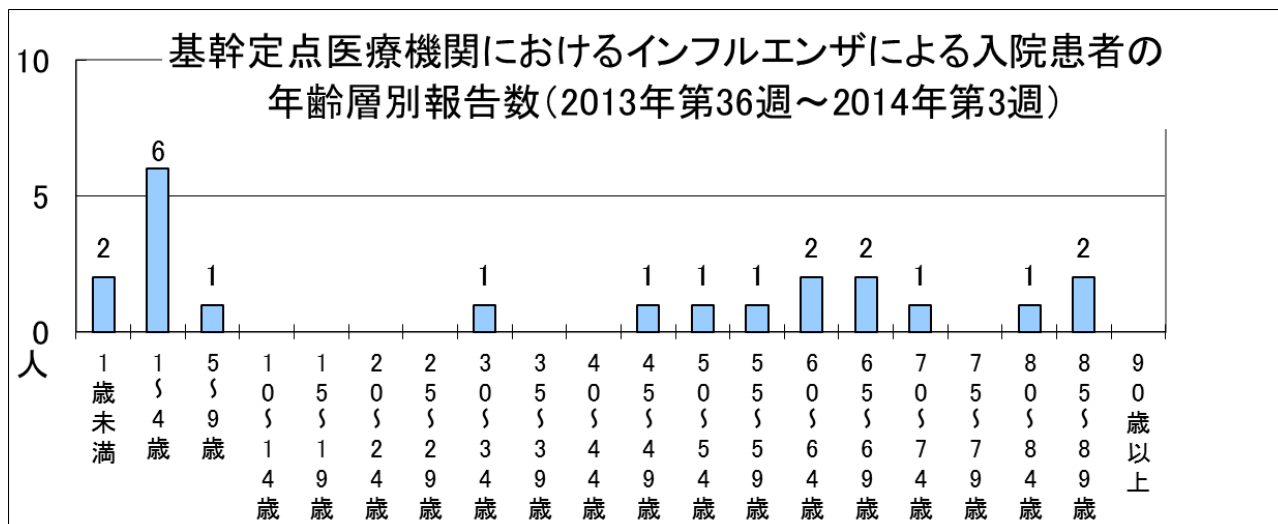
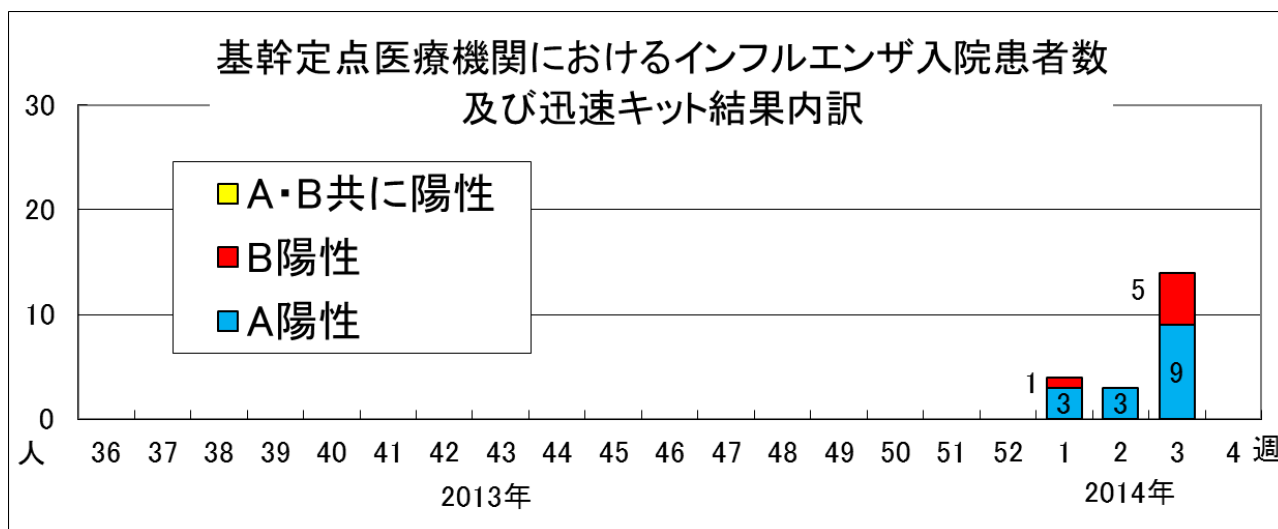
3 迅速キット結果:第2週以降A型、B型ともに報告が増えていますが、第3週ではA型65.4%、B型34.4%、A型B型ともに陽性0.1%と、**A型が6割以上**を占めています。



4 市内学級閉鎖等状況:第2週は0件でしたが、第3週では**閉鎖のあった施設数が増加しています**。第3週の施設種別では、小学校3件、中学校2件、幼稚園1件でした。

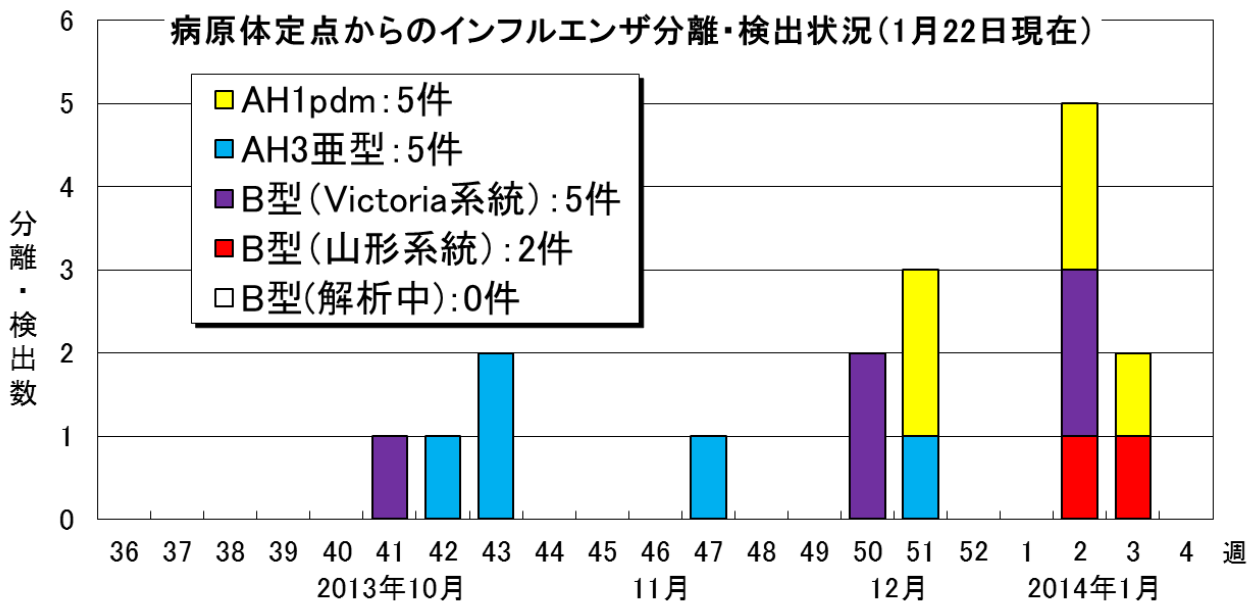
5 入院サーベイランス:基幹定点医療機関<sup>※3</sup>における、インフルエンザの入院患者数は**第2週の3人から第3週14人と増加**しました。A型、B型ともに入院例が報告されていますが、A型の方が多くなっています。年齢層別(累計)では、**1～4歳の報告が多くなっています**。

※3 基幹定点:患者を300人以上収容する病院(小児科医療と内科医療を提供しているもの)の中から、地域ごとに指定された医療機関のことで、市内には4つの基幹定点があります。



6 インフルエンザ脳症:今シーズンに入り、市内の報告はありません。

7 市内病原体検出状況:市内では病原体定点から今シーズン計 17 件インフルエンザウイルスが分離・検出されていますが、AH1pdm09、AH3 亜型、B 型(Victoria 系統)、B 型(山形系統)が混在しています。



8 分離株の抗原性解析と耐性検査:市内で検出されたインフルエンザウイルスの、ワクチン株との抗原性解析(HI 試験)では、AH3 亜型株、AH1pdm09 株とも、試験を行った株はすべて 2 管差以内でした。一般的に 2 管差(HI 価 4 倍)以内でワクチン株と類似していると言われています。薬剤感受性試験では、AH3 亜型株、AH1pdm09 株とも、試験を行った株で主な薬剤への感受性低下は認めませんでした。

衛生研究所で AH1pdm09 の 13 株を検査したところ、耐性遺伝子を持つ株はありませんでした。

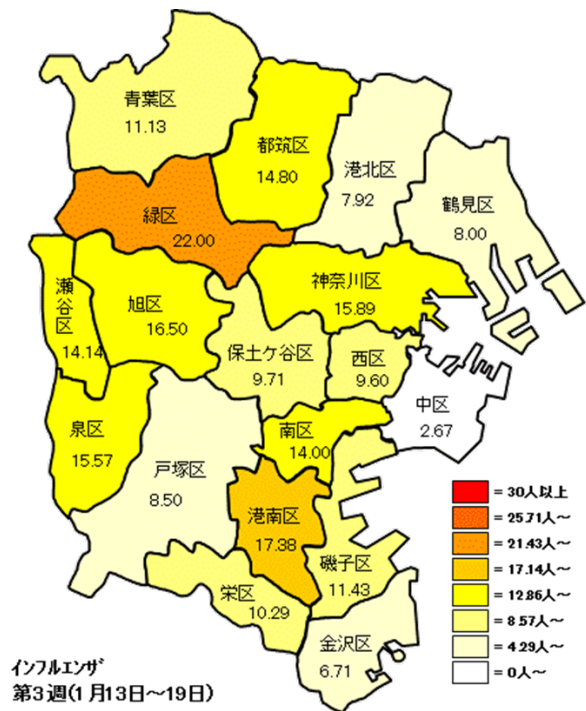
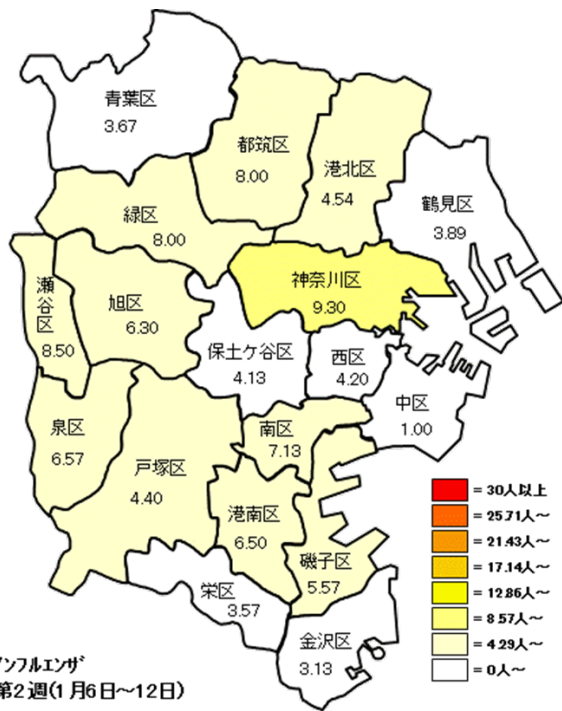
| 亜型名        | ウイルス株名              | 検体採取日      | 抗原性解析結果 | 薬剤感受性試験 |
|------------|---------------------|------------|---------|---------|
| AH3 亜型株    | A/YOKOHAMA/159/2013 | 2013/10/21 | 1 管差    | 感受性低下無し |
|            | A/YOKOHAMA/158/2013 | 2013/10/21 | 1 管差    | 感受性低下無し |
|            | A/YOKOHAMA/157/2013 | 2013/10/19 | 1 管差    | 感受性低下無し |
|            | A/YOKOHAMA/154/2013 | 2013/09/02 | 1 管差    | 未実施     |
|            | A/YOKOHAMA/155/2013 | 2013/09/02 | 同等      | 未実施     |
|            | A/YOKOHAMA/160/2013 | 2013/11/24 | 同等      | 感受性低下無し |
| AH1pdm09 株 | A/YOKOHAMA/156/2013 | 2013/09/09 | 1 管差    | 感受性低下無し |
|            | A/YOKOHAMA/161/2013 | 2013/12/10 | 未実施     | 感受性低下無し |
|            | A/YOKOHAMA/162/2013 | 2013/12/10 | 未実施     | 感受性低下無し |
|            | A/YOKOHAMA/163/2013 | 2013/12/10 | 未実施     | 感受性低下無し |

\* 抗原性解析、薬剤感受性試験は国立感染症研究所で実施

\* 薬剤感受性試験は、オセルタミビル、ペラミビル、ザナミビル、ラニナミビルに対して実施

注:抗原性解析は、実験室的にウイルス株とワクチン株の類似性を確認しているだけで、臨床的なワクチンの効果は疫学的に検証する必要があります。

## 9 区別流行マップ



**【お問い合わせ先】**  
 横浜市健康福祉局健康安全課  
 TEL 045(671)2467  
 横浜市衛生研究所  
 感染症・疫学情報課  
 TEL 045(754)9816